



2022
October

2022年10月



Risk Analysis Research Center

CONTENS

- 02 1. 今月のトピックス
- 02 2. 各プロジェクトからのお知らせ
 - 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
 - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
 - リスク基盤数理プロジェクト
 - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
 - 地震予測解析プロジェクト
 - 資源管理リスク分析プロジェクト
 - 時空間データ解析プロジェクト
- 04 3. センター事務局からのお知らせ

1. 今月のトピックス

リスク解析戦略研究センターデータ基盤プロジェクトが中心となって企画している「公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2022」が11月25日にオンラインで開催されます。講演内容・プログラム等詳細は次号でご案内します。皆様の参加をお待ちしております。

2. 各プロジェクトからのお知らせ

■ 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 12月12-13日 第9回金融シンポジウムを開催の予定です。12日は午後のみ13日は終日の予定です、講演内容等の検討に入りました。
(所内責任者：山下 智志 教授)

■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 9月の統計関連学会連合大会で2つの企画セッションを開催しました。
9月7日 「アジアの公的マイクロ統計の活用」
9月8日 「公的統計マイクロデータ利活用の現状と課題」
(所内責任者：南 和宏 教授)
- 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムが昨年度実施した公的統計マイクロデータに対する利用意向、利用状況に関するアンケートの結果をコンソーシアムのホームページに公開しています。
<http://jmodc.org/questionnaire/gaiyou.html>
- 11月25日 トピックスで紹介しております「公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム 2022」をZoomウェビナーによるオンラインで開催します。詳細は順次コンソーシアムのホームページでお伝えしていきます。
<http://jmodc.org/>
(所内責任者：南 和宏 教授)

■ リスク基盤数理プロジェクト



- 9月16-17日 統計数理研究所にて、リスク解析戦略研究センターが後援した共同研究集会「接合関数(コピュラ)理論の新展開」が、オンライン参加も可能な形で開催されました。本共同研究集会には、多様な分野で活躍している接合関数(コピュラ)の国内研究者が集まり、16件の講演および意見交換がなされました。感染防止対策を講じつつ、講演者の多くは現地にて参加しました。また、オンラインによる遠隔参加も多数あり、オンラインでの講演・質問もありました。当研究分野における国内での研究集会の対面を含む開催は久々ということもあり、接合関数に関する活発で密度の濃い議論が交わされ、参加者にとって刺激的な研究集会となったのではないかと思います。現地24名、オンライン48名の参加がありました。

<https://sites.google.com/view/copulaism2022>

(オーガナイザー：加藤 昇吾 准教授・吉羽 要直 客員教授)

- 10月6日及び11日 ドイツウルム大学と東北大学との国際ワークショップ(東北大学にて開催)に先立ち、統数研の国際アドバイザーボードのメンバーでもあるドイツ・ウルム大学のEvgeny Spodarev教授、及び同じくドイツ・ウルム大学で保険数学が専門のAn Chen教授の講演会を所内(ハイブリット)で行う予定です。
<https://www.ism.ac.jp/events/2022/meeting1006.html>
<https://www.ism.ac.jp/events/2022/meeting1011.html>
(所内責任者：栗木 哲 教授)

- 10月12-14日 MOUを締結しているドイツのウルム大学と東北大学と統計数理研究所による国際ワークショップ「Risk and Statistics : 3rd TohokuU-UUlm-ISM Joint Workshop」を今回は東北大学 知の創出センター「知の館」にて開催します。

https://www2.econ.tohoku.ac.jp/~DSSR/event_2022/3rdUIT/index.html

(所内責任者: 栗木 哲 教授)

- 10月後半 -11月頃 共同研究集会「無限分解可能過程に関連する諸問題」を開催します。

(所内責任者: 志村 隆彰 准教授)

- 11月中旬頃 「確率・統計・行列ワークショップ2022」を開催予定です。

(所内責任者: 栗木 哲 教授)

■ 環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

- 年度後半に例年通り、ISM シンポジウムの開催を予定しています。実地開催が望ましいですが、コロナ禍の状況によります。実地開催の可否は早めに判断したいと考えています。

(所内責任者: 金藤 浩司 教授)

- 中断していたマレーシアとの地すべりに関する研究を再開したいと考えています。

(所内責任者: 金藤 浩司 教授)

■ 地震予測解析プロジェクト

- 9月6日 2022年度統計関連学会連合大会で第36回小川研究奨励賞受賞者記念講演にて受賞者である矢野恵佑准教授が「高次元・無限次元モデルにおける予測分布」の講演を行いました。

- 9月7日 2022年度統計関連学会連合大会企画セッション「地震ビッグデータ解析の最前線」(於: 成蹊大学及びオンライン開催)にて庄建倉准教授が招待講演「地震活動による点過程モデルの改良: 残差解析からの学習」を発表しました。

(所内責任者: 矢野 恵佑 准教授)

- 9月20日 STAR-E プロジェクト第5回勉強会を開催しました。

- 10月3日 第85回統計地震学セミナーが開催されます。

(担当者: 熊澤 貴雄 特任准教授 熊子 瑤 特任助教)

■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 9月1-2日「日台韓三カ国国際会議 SFEM2022」を三重大学 Onsite - Zoom Online のハイブリット形式で開催しました。

<https://www.formath.jp/symposium/2022SFEM/index.html>

(所内責任者: 吉本 敦 教授)

- 10月に開催を予定していたマカッサルイスラム大学(インドネシア スラウェシ)での統計数理ワークショップは先方の希望で12月頃に延期となりました。

(所内責任者: 吉本敦教授)

- 10月25-26日 ベトナム森林研究所(ハノイ・ベトナム)で国際ワークショップ「Applied Statistical Analysis with “R” Software for Forestry Research 2022」を開催します。日本からは統計数理研究所の吉本敦教授と札幌医科大学の加茂憲一准教授が現地へ赴く予定です。

(所内責任者: 吉本 敦 教授)

■ 時空間データ解析プロジェクト

- 10月21日 公開講座「Rによる時空間モデリング入門」を開催予定です。現在準備を始めています。

<https://www.ism.ac.jp/lectures/kouza.html>

(所内責任者: 村上 大輔 助教)

- カリフォルニア大学との共同ワークショップの開催を計画しています。現在開催時期の検討に入っています。

(所内責任者: 松井 知子 教授)

3. センター事務局からのお知らせ

- 9月のリスクセンター運営会議の議題
 - ・ リスクセンター PD の公募結果と一次評価
 - ・ 本年度予算の返納について
 - ・ 来年度の共同利用重点テーマについて
 - ・ 各プロジェクトからの報告
 - ・ その他

- 次回の会議は 2022 年 10 月 12 日 (水) 11:00 ~ の予定です。

2022/10/3